

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・岡田健一・早川昇三・南川達彦・黒光ひさ・鈴木和彦
調査実施年月日	平成29年度1月23日
調査先 自治体名等	千葉県 船橋市
調査項目	船橋市地方卸売市場経営展望について
調査目的	市場経営改善の行動計画について
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：627,675人 277,478世帯（平成28年12月1日現在） 高齢化率：23.10% 市民平均年齢：42.76歳（平成28年4月1日現在） 行政面積：85.62km²</p> <p>2 視察内容 船橋市地方卸売市場は、昭和44年から開設され、今日まで市場として経営されてきたが、売り上げは、最盛期の3分の1となり、市場全体の経営改善が喫緊の課題となっていた。</p> <p>その対策として、行政に加えて、市場の関係業者も含めて市場全体で経営展望を策定することになった。経営展望策定は、コンサルタントが主導して、2年間かけて丁寧に関係事業者ヒアリングを行い、地域内外市場の現状把握や事業者の意向調査、今後の具体的な行動計画まとめ、平成26年4月より船橋市地方卸売市場経営展望を策定した。</p> <p>今回は、経営展望策定後の行動計画の実施状況に注目し、調査を行った。行動計画は、役割ごとに設定されており、毎年度末に報告されており、調査では27年度までの成果についてうかがった。</p> <p>卸・仲卸といった民間事業者の取り組みとしては、量販店でのマネキンの導入、新たな量販店、給食・動物園への納品会社との取引開始、地場品の流通促進のため行政と一緒に産地廻り、合理化コスト削減のための市場専用コンテナの普及促進、仲卸業者間での産地商品の情報共有、卸・行政からの取引先紹介による新規取引開始、市場のイベントを通じての地元飲食店とのつながり強化、コンビニエンスストアでの店頭販売、地場産品の積極的な取り上げ、といった成果があったとのことであった。</p> <p>行政の取り組みでは、上記の取り組みの支援に加えて、船橋市場のブランド化のためのロゴマーク・ノボリの作成や市場開放によるイベントの実施、独立した市場ホームページの作成などを行っている。</p> <p>こうした取り組みの全体の成果として、減少が続いていた売上、取引量も横ばいから改善に向かってきており、今後の施設の老朽化による市場建て替えへの民間業者や意欲の高揚につながっているとのことであった。</p>

<p>感想（まとめ） 本市へ生かせること 等</p>	<p>本市の市場も売上、取引量は年々減少しているなかで、市場の建て替えを検討しています。建て替え検討にあたり、将来的に市場の維持できるよう、船橋市場のように、行政と関連事業者とが同じ方向を向けるような行動計画を策定し、経営改善を図ることが必要であることを再認識することができた。 これから建て替え議論を進めるにあたり、大変参考となる調査であった。</p>
------------------------------------	---